

新規

事業者名

有限会社坂田海運

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

私たちは「安全かつ迅速に環境にも配慮した海上輸送の実行」と「社員一丸となり人材の育成に取組み、安全かつ省エネ意識を高めた輸送活動」を目標に掲げ、様々なことに取り組んでいます。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	新規モデル船舶の建造	2023年 1隻 2026年までに 2隻目
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	社員の満足度の向上 (身体的負荷の軽減、ストレスフリー、休暇日数)	社員の満足度の向上 2023年 アンケート未実施(把握できていない) 2026年まで アンケートと不満への 100%対応
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	船員の新規採用	新規採用人数 2023年 0名 2026年までに 5名採用

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標**を記載してください。(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

坂田海運は、積極的に地域より人材を採用し、若手船員育成により継続的な技術継承に取り組めます。また、職業体験を通じて未来の内航海運を担う子供たちの理解の機会をつくっています。船員体験や船内の一般開放イベントを通じて、多くの人に内航海運を知ってもらう機会もつくっています。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。